

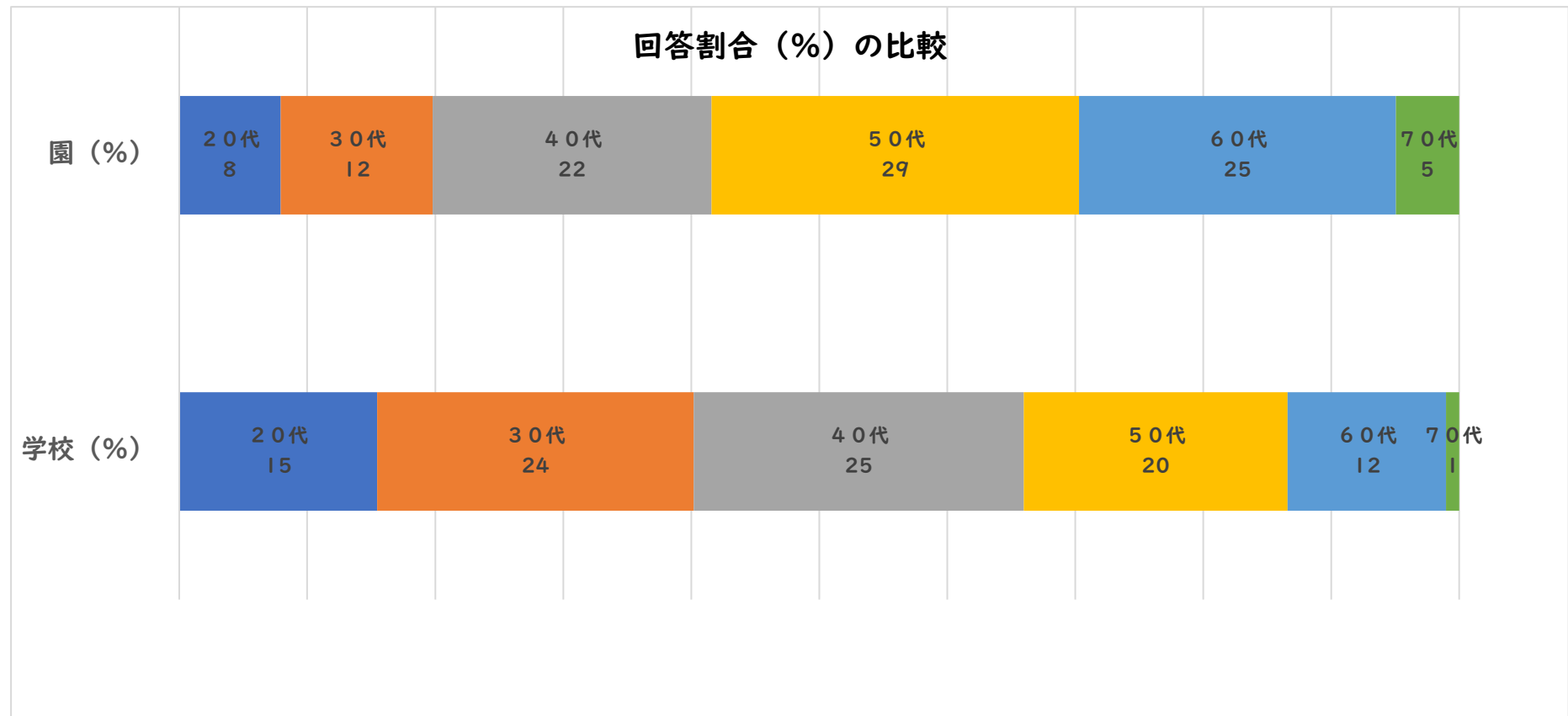
令和6年度 綾部市ヤングケアラー意識調査 結果

Q. あなたの所属先を教えてください。

園 : 回答数 220名 (回答率79.7%)

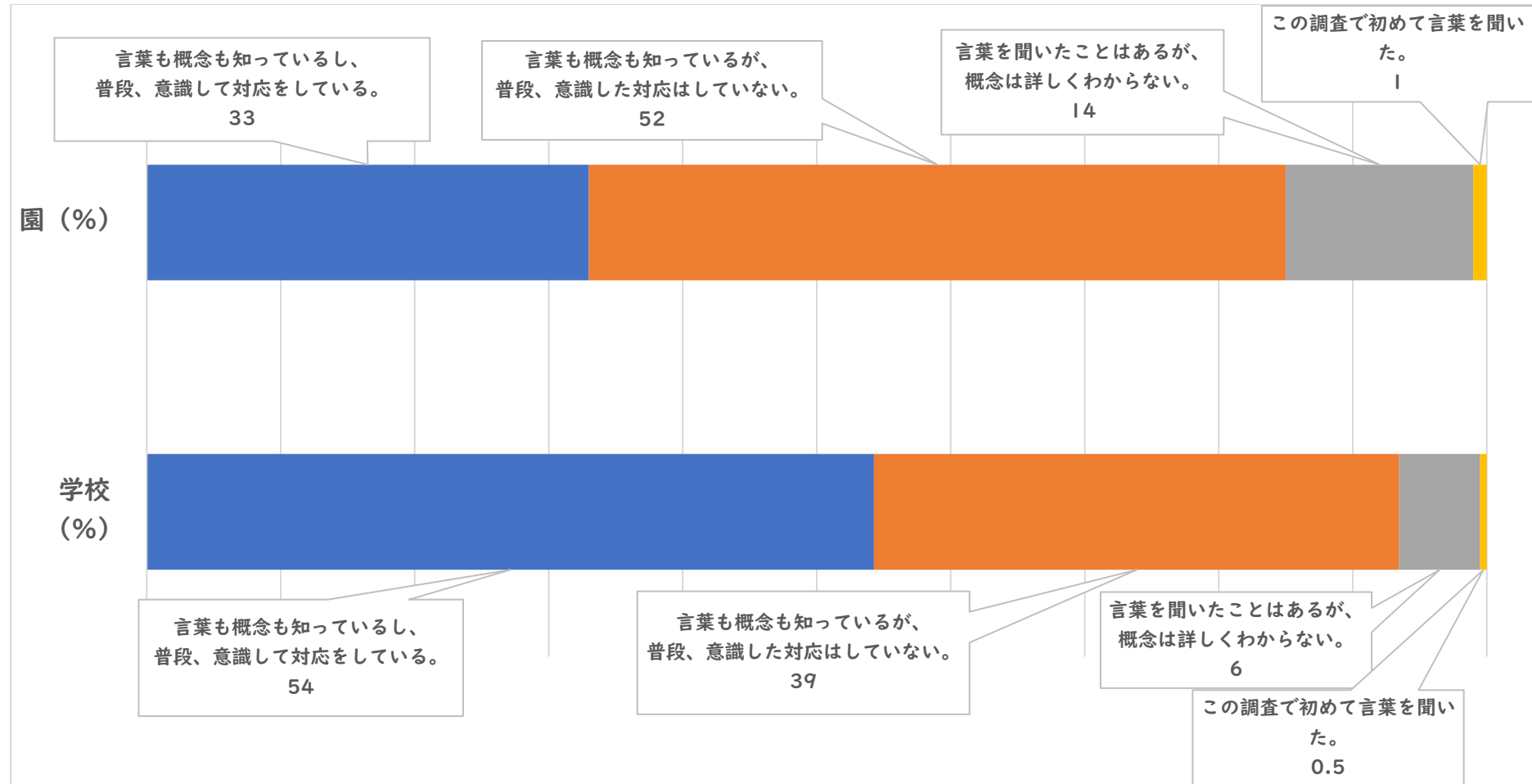
学校 : 回答数 411名 (回答率76.2%)

Q. あなたの年齢を選んでください。

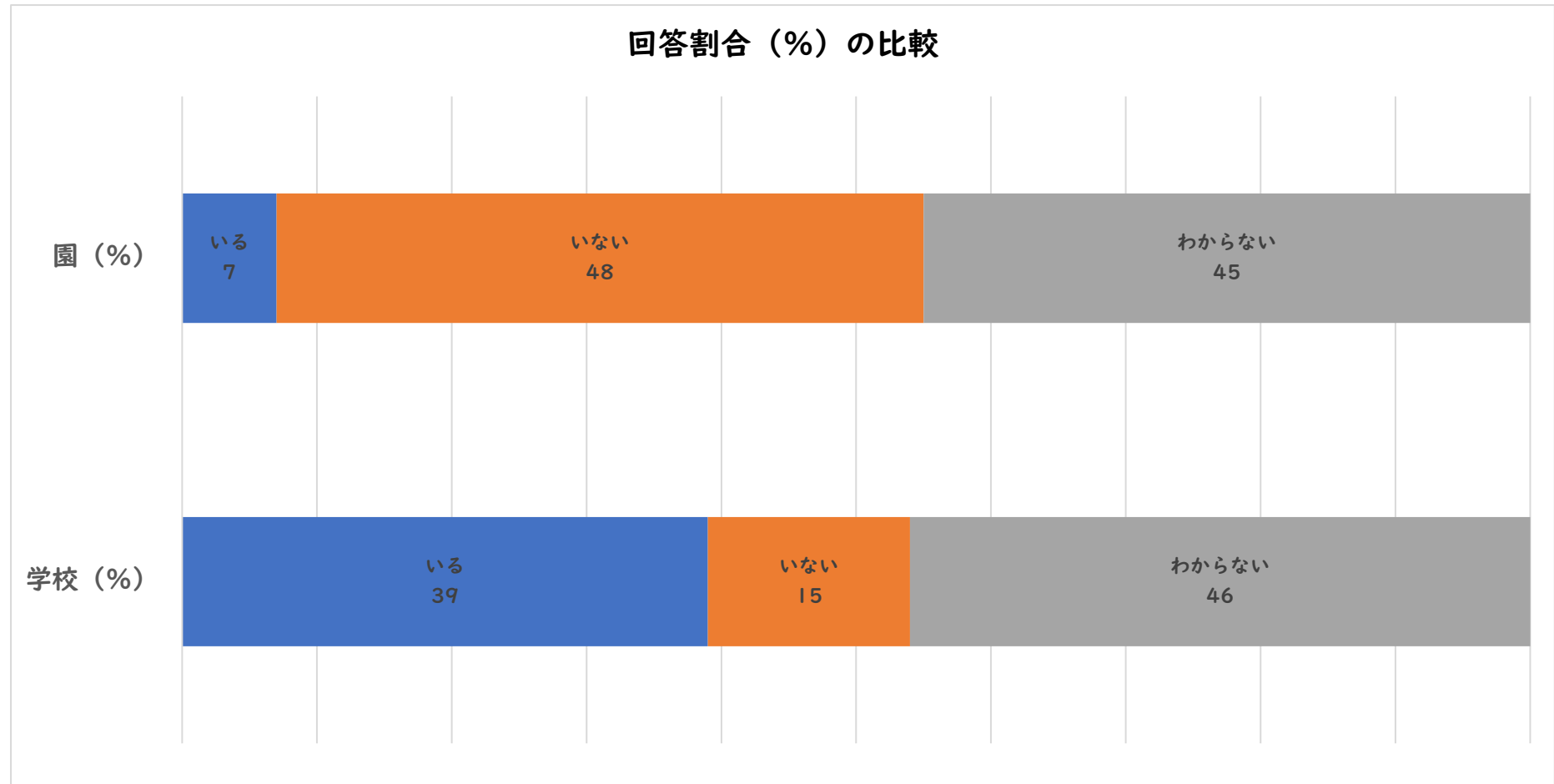


Q. あなたは、ヤングケアラーという言葉と概念を知っていますか。

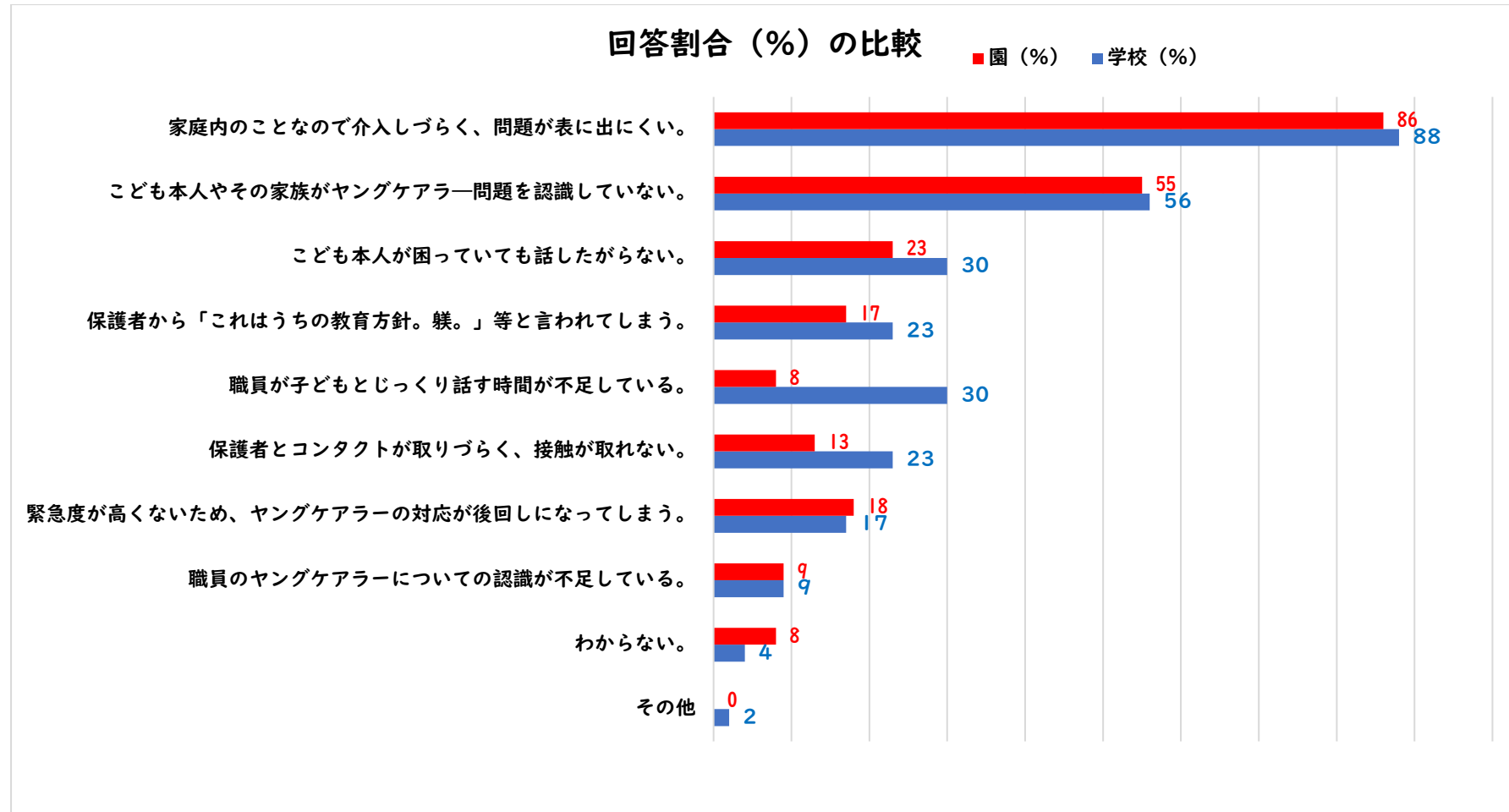
回答割合（％）の比較



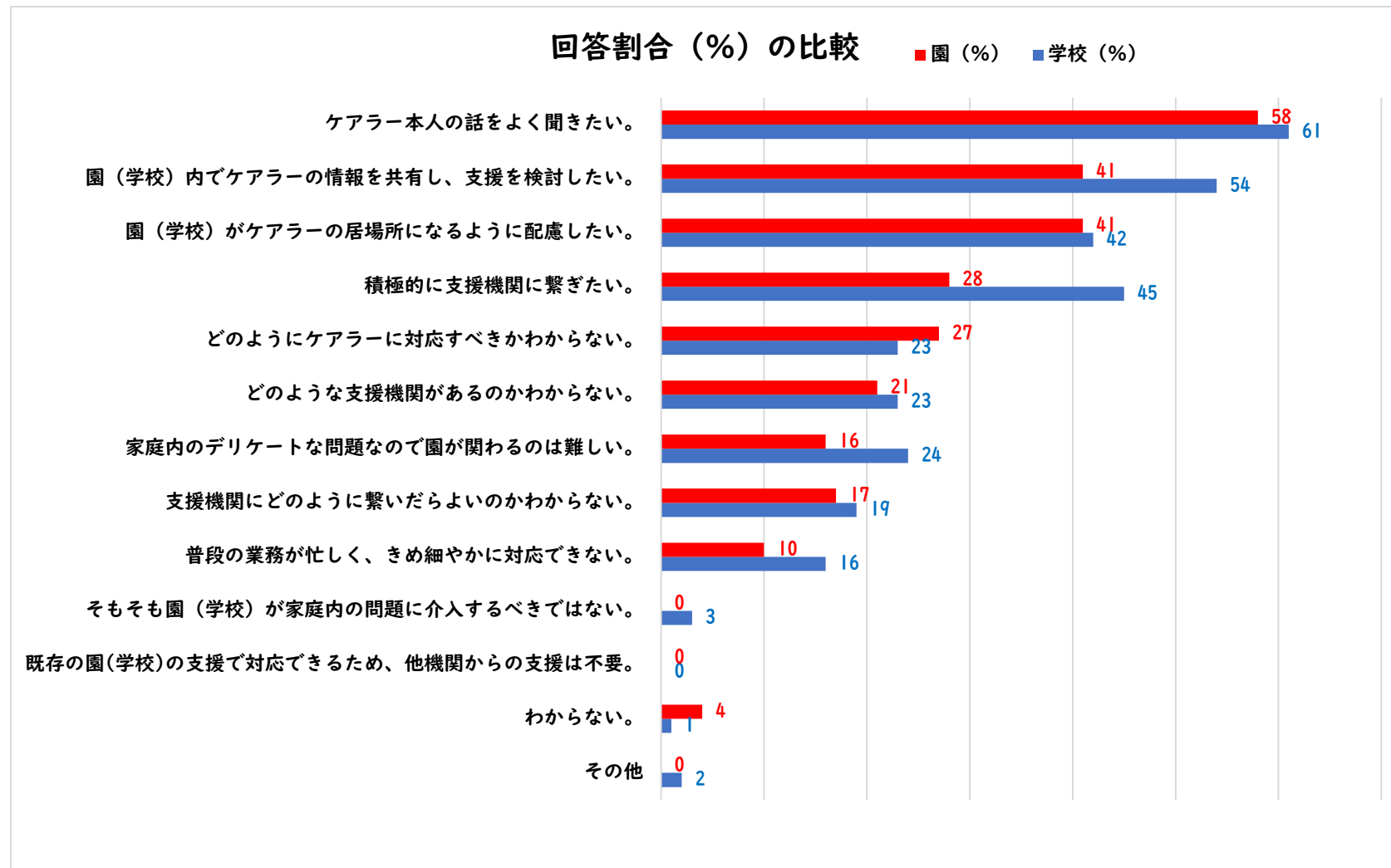
Q. 現在勤務している園（もしくは学校）に、ヤングケアラーと思われる子どもはいると思いますか。



Q. ヤングケアラーの子どもの把握や支援を行う上で、難しいと感じること、課題だと思うことは何だと思いますか。
当てはまるものを全てを選択してください（複数回答可）。

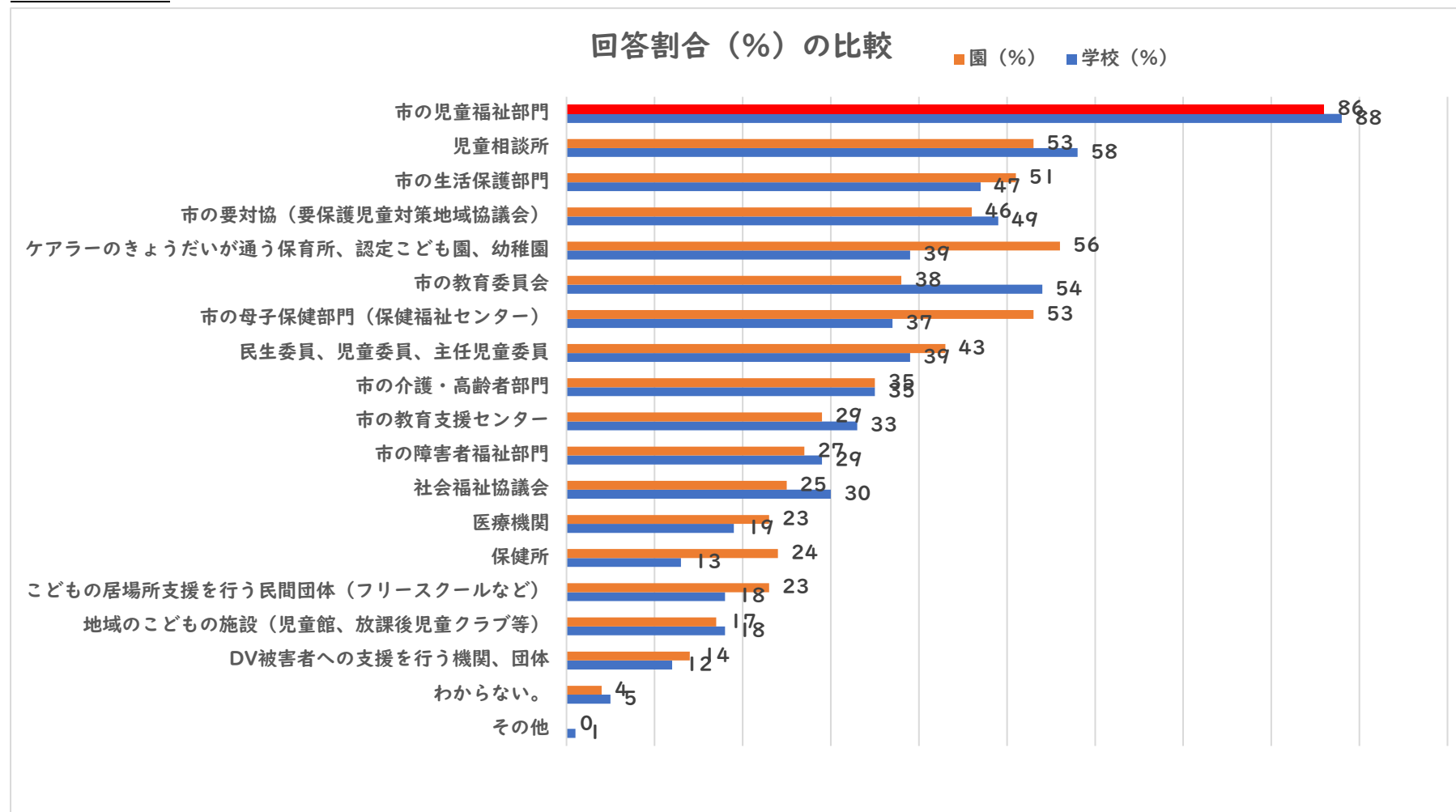


Q. ヤングケアラーへの支援について、今の自分の考えや気持ちに近いものを選んでください。当てはまるもの全てを選択してください。
(複数回答可)

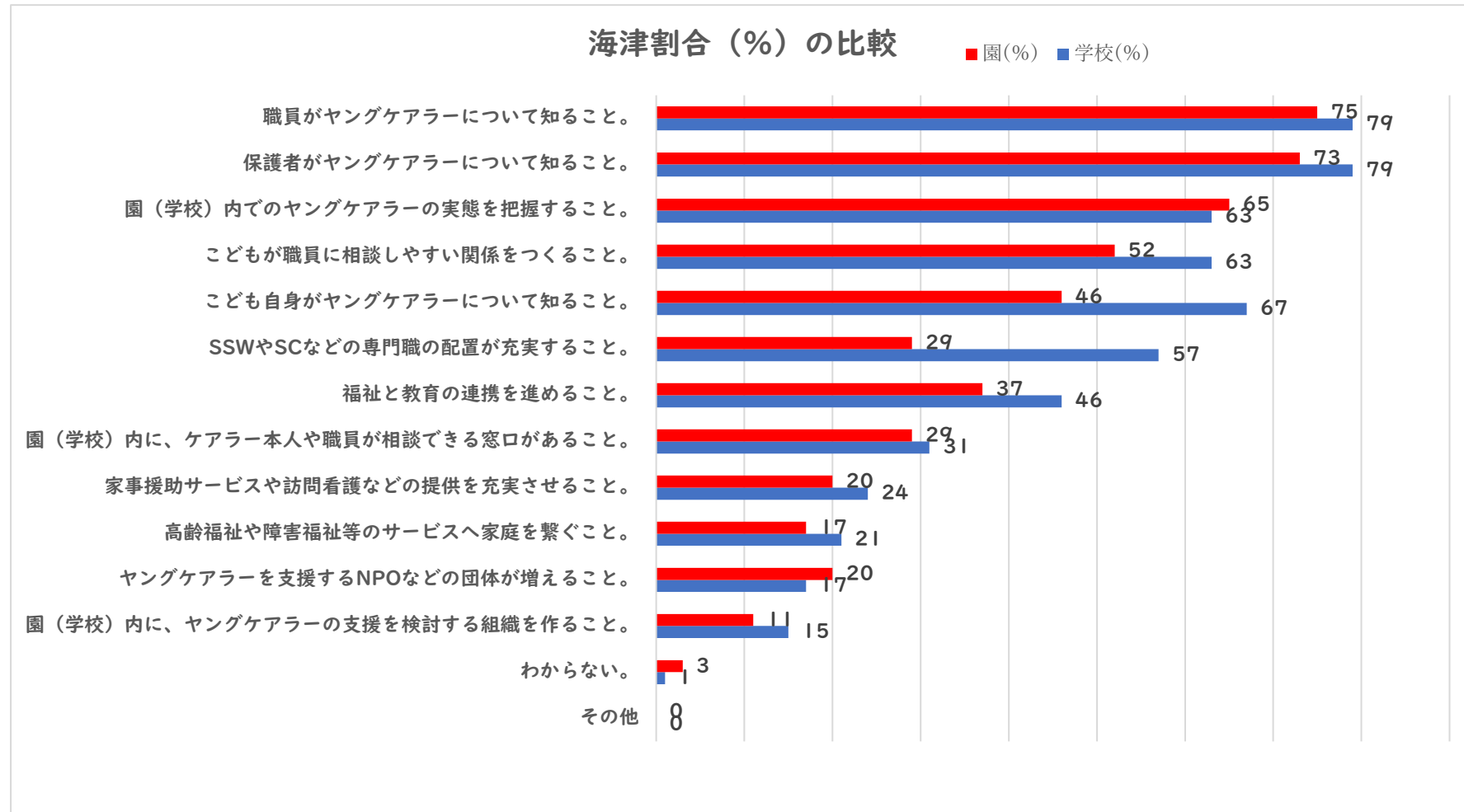


Q. あなたは、ヤングケアラーを支援する上で、どのような支援機関との連携が必要だと考えますか。当てはまるもの全てを選択してください。

(複数回答可)



Q. あなたは、ヤングケアラーを支援するために必要だと思うことはどのようなことですか。あてはまるもの全てを選択してください。
(複数回答可)



※ 自由意見を述べてもらう質問では、大きく分けて以下の１８の意見が出ました。

①	職員がヤングケアラーについての研修を受けたり、事例を通して学びが必要である。
②	各関係機関との連携が必要。
③	地域やこども、保護者への啓発が必要。
④	こどもたちが話しやすい、相談しやすい環境づくり
⑤	地域のヤングケアラーの実態や、繋がれる支援機関や相談機関が知りたい。
⑥	具体的にどう支援すればよいか提示があれば、できる支援をしたい。
⑦	職員が意識を高め、情報共有が必要。
⑧	園や学校がヤングケアラー問題に対してきめ細かく対応するのは難しく、限界がある。
⑨	人員配置や業務内容の削減をし、こどもに向き合える時間が必要。
⑩	ヤングケアラーの判断基準が分かりにくい。
⑪	現状のヤングケアラー支援は不十分である。
⑫	専門窓口の充実。
⑬	学校が抱える業務で手一杯であり、ヤングケアラー問題に対応できない。
⑭	ヤングケアラーだけ支援するのもどうかと思う。
⑮	園児はどちらかといえばケアされるほうである。
⑯	デリケートな問題であるため、どこまで介入して良いかわからない。
⑰	適切な支援を行うために、行政が動くべき。
⑱	家族でケアすることも大切。

以上。